

四 万 十 ・ 流 域 圏 学 会 設 立

～四万十川をめぐる多分野の連携～

寒い日が続いていますが、清流通信の読者のみなさまは元気にお過ごしでしょうか。四万十川流域では、そろそろ花粉が飛ぶ季節になります。花粉症の方にとっては頭が痛い季節ではないでしょうか。

今回は、2月8日(木)に設立発起人会及び設立総会が行われました、「四万十・流域圏学会」についてお伝えします。

四万十川や全国の河川とその流域圏が持つ課題を解決し、地域づくりにつなげることを目的として、四万十・流域圏学会が設立されました。四万十川流域には、自然環境、森林管理、経済構造、地域文化の伝承など多くの課題があります。これらは個別の研究、対応では解決しがたいため、各分野の専門家などが連携して対応する必要があります。

学会の今後の取り組みとしては、

- ・地域住民及び産・官・学が連携した実践的な研究や行動
- ・全国の流域圏や研究者・技術者・地球市民との交流
- ・次世代への展開、次世代を担う人材の育成

などが考えられています。

四万十・流域圏学会では次世代を担う人材育成を重視しており、小・中・高校生のジュニア会員を募集することになっています。例えば、1日目を成人からの、2日目をジュニア会員からの研究発表を行うことなどが考えられます。

[問い合わせ先・入会希望]

TEL0887-57-2418 (高知工科大学 村上研究室)

TEL088-823-9795 (高知県四万十川対策室)



森は海の恋人植樹祭

「森は海の恋人植樹祭」を3月24日(土)に四万十川の海流点付近で行う予定です。

「森は海の恋人」運動は四万十大使の島山重篤さんが実践されています。海の生物が成長するのに必要な物質は森から川を通じて供給されており、上流にある森林がいかに重要であるかを植樹活動を通じて示されています。

また、下流の人に上流がどのような状況になっているのか、上流の人に上流での行動がどのような影響を下流に及ぼすのか、関心をもってもらうこともこの植樹祭の目的です。

詳しくは次号で取り上げさせていただきます。

次号(3月10日発行)は「森は海の恋人植樹祭」を予定

四万十川対策室ホームページ：<http://www.pref.kochi.jp/~shimanto/>

財団法人四万十川財団ホームページ：<http://www.shimanto.or.jp/>